

- ・ 出穂期は8月3日（近年より3日遅い）となりました。
出穂以降高温で推移し、今後も高温が予報されていることから、早めに収穫、乾燥・調製の準備を行いましょう。
- ・ 収穫直前まで適切な水管理を実施するとともに、籾黄化率 80%からの刈取の開始、適切な乾燥・調製により高品質な富富富に仕上げましょう。

1 収穫までの管理の徹底

- (1) 刈取りの5～7日前まで「間断かん水」を行い、稲体の活力維持に努めましょう。
- (2) フェーンなど高温が予想される場合は、事前に入水し、稲の枯れ上がりやほ場内での胴割米の発生を防ぎましょう。
- (3) 収穫前にほ場を確認し、クサネムや水稻の異茎株があれば、混入しないよう確実に抜き取りましょう。



異茎株(抜き上がり)等)



クサネム

2 適期刈取りの励行

- (1) ほ場ごとに籾の黄化状況を必ず確認しましょう。
- (2) 籾黄化のばらつきが大きい傾向がありますが、籾黄化率80%を目安に刈取りを開始し、刈遅れに注意しましょう(胴割米発生防止)。
- (3) コシヒカリと同程度に黄化している場合は、「富富富」を優先して刈取りましょう。



「富富富」刈取時期の目安

出穂期	刈取始め(籾黄化率80%)
8月3日	9月12日頃
8月5日	9月14日頃

注: 実際の収穫時期は、各地域で設置する「刈取適期表示」も参考にして下さい。

3 適切な乾燥・調製

- (1) 乾燥速度は毎時乾減率0.8%以下とし、胴割米の発生を防ぎましょう。
- (2) 水分が17%以下になったらこまめに手動水分計で測定し、玄米水分14.5～15.0%に仕上げましょう。
- (3) 選別は1.9mmの篩目を使用し、機種ごとの適正流量を守って整粒歩合を高めましょう。
- (4) 状況に応じて色彩選別機を活用しましょう。

秋の農作業安全運動実施中 (8月20日～10月20日)

※収穫、乾燥・調製作業中も事故防止や熱中症対策を徹底しましょう。

